



Nomura Research Institute Group

NEWS RELEASE

2025 年 9 月 9 日

株式会社野村総合研究所

野村総合研究所、JR 東日本と共同で

「地域みらいブレインリンク」を設立

～新事業創出によるライフスタイル変革「LX」で「地域創生」に貢献～

株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長：柳澤花芽、以下「NRI」）は、東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：喜勢陽一、以下「JR 東日本」）とともに、「地域みらいブレインリンク」の設立を 2025 年 10 月に予定しています。

地域みらいブレインリンクは、持続可能な社会づくりに不可欠な「地域創生」を着実に前進させるために、NRI の「デジタル社会に関する未来予測、社会・経営課題解決やデジタル実装力」と、JR 東日本グループの「リアルとデジタルの多様なお客さま接点やネットワーク、アセット」という強みを活かし、地域で暮らす人たちの生活様式と働き方を革新する「ライフスタイル・トランスフォーメーション（以下「LX」）」¹を目指します。

■地域みらいブレインリンクの特長と目標

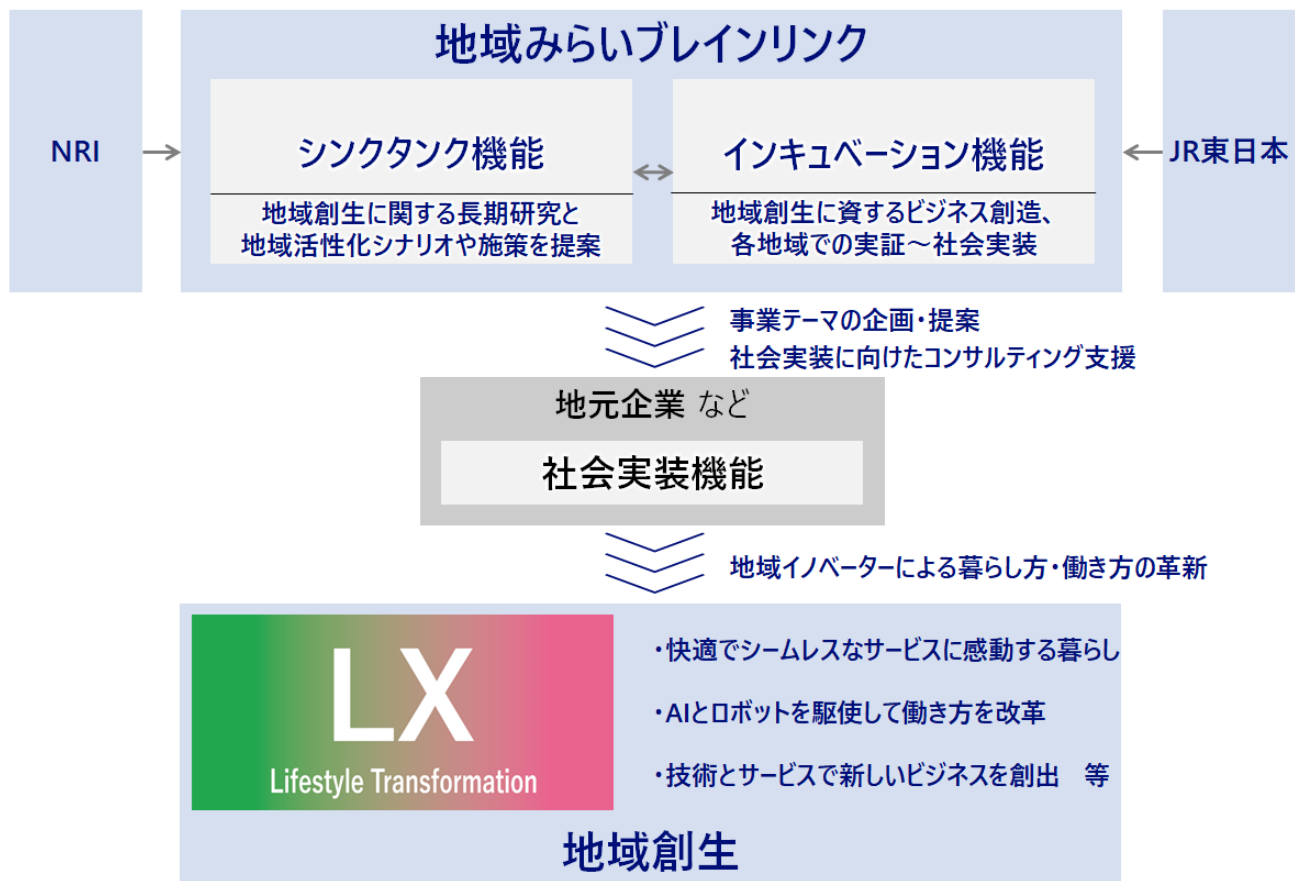
地域みらいブレインリンクは、100 年先の未来を見据え、リアルとデジタルインフラを融合させた新しい社会・経済・生活モデルの研究とともに、社会課題および地域課題解決に資する戦略とその実現に向けたビジネスモデルの提案、更には事業化までを支援します。変革を担う地域イノベーターの発掘から事業化と社会実装までを一気通貫で支援し、地域の生活者の暮らし方・働き方をより良い方向に変革する LX の実現までを担います。具体的には、地域みらいブレインリンクが新事業テーマを考案した上で、さらに実行主体へのコンサルティングによる支援を行いながら、事業化につなげます。

地域みらいブレインリンクは、NRI のシンクタンクとしての機能を活かして社会課題および地域課題のための研究と政策提言を行い、「教育」「医療」「移動・交通」「観光・交流」「食農・一次産業」「人材・イノベーション」の重点領域で具体的な事業を創造します。同時に、JR 東日本がもつ広範な生活・交通インフラというアセットを活用しながら、各地域の企業・大学等の多様なプレイヤーとのエコシステム形成と、研究成果に基づく政策提言等により、社会実装を加速させていきます。

【地域みらいブレインリンクの概要】

法人名	株式会社地域みらいブレインリンク
設立	2025 年 10 月
設立主体	JR 東日本、NRI
代表者	代表取締役社長 永杉博正
資本金	4 億円（資本準備金 4 億円）
所在地	「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub (LiSH)」 Studio1 (東京都港区高輪 2 丁目 21-1 THE LINKPILLAR 1 NORTH6・7F)

図：地域みらいブレインリンクの機能



■NRI の強み

NRI は日本初の本格的な民間総合シンクタンクとして、常に未来の社会像を予測するとともに、さまざまな社会課題について、解決の道筋を提言してきました。地域創生においても、「デジタルローカルハブ」²構想を提唱し、山形県鶴岡市³をはじめとする中核都市とともに地域創生に取り組みながら、行政のデジタル化や産官学連携において知見と実績を積み重ねています。また、地域のイノベーターを発掘し、地域の金融機関との連携などを通じて事業化までを支援するイノベーション創出支援のプログラム⁴を北海道

十勝エリアなどこれまで全国 6 地域で展開してきており、地域発のイノベーション創出においてノウハウを蓄積しています。

また NRI は、地域イノベーターのビジネス創出を DX 面からも支援します。NRI が有する優れた AI 技術を活かし、「ヒト起点」の発想で LX に繋がる地域イノベーターのビジネス活動を支援していきます。

NRI は、これら地域創生や DX についての知的資本と人材（人的資本）を活かし、地域みらいブレインリンクの取り組みを推進します。

■JR 東日本の強み

JR 東日本グループは、グループ経営ビジョン「勇翔 2034」⁵において LX を「創造する価値」として掲げ、ローカルスタートアップとの共創や、「はこビュン」⁶などの地域と連携した地域経済を活性化する取り組みをはじめ、地域に密着した事業運営を進めています。

地域みらいブレインリンクの活動を通して、モビリティと生活ソリューションの二軸で毎日のべ 3,500 万人のお客さまに多様な商品・サービスをお届けしている広範なお客さま接点や、生活に浸透している Suica をはじめとする豊富なアセット、ネットワークを活用し、地域が抱える課題から豊かさを生み出す好循環を生み出し、地域の社会課題の解決に一層取り組みます。

また、多様なプレイヤーを繋ぐ TAKANAWA GATEWAY CITY のビジネス創造施設「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub (LiSH)」⁷を活用し、各地域に新設するイノベーション拠点と繋ぎ、地域イノベーターとの協働を開始するとともに、今後は、さらなる共創パートナーをむかえ、伴走支援の仕組みを一層強化していきます。

NRI はこれからも、地域みらいブレインリンクの設立をはじめ JR 東日本とのさらなる共同での活動を進めていきます。

¹ LX の詳細は次の URL をご参照ください。

<https://www.jreast.co.jp/company/ir/management/vision/>

² デジタルローカルハブの詳細は次の URL をご参照ください。

<https://www.nri.com/content/900032097.pdf>

³ 鶴岡市との取り組みの詳細は次の URL をご参照ください。

https://www.nri.com/jp/news/info/20250630_1.html

https://www.nri.com/jp/news/newsrelease/20191212_1.html

⁴ 本プログラムの詳細は次の URL をご参照ください。

<https://www.nri.com/jp/media/journal/20231026.html>

⁵ 「勇翔 2034」の詳細は次の URL をご参照ください。

<https://www.jreast.co.jp/company/ir/management/vision/>

⁶ 「はこビュン」の詳細は次の URL をご参照ください。

<https://www.jrbutsuryu.jregroup.ne.jp/business/hakobyun.html>

⁷ TAKANAWA GATEWAY CITY および LISH の詳細は次の URL をご参照ください。

<https://www.takanawagateway-lish.com/>

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 玉岡

TEL : 03-5877-7100 E-mail : kouhou@nri.co.jp